

(一般情報)

## 「おおまさり」の課題を改善！「おおまさりネオ」の導入・普及

～落花生新品種「おおまさりネオ」現地検討会の開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和2年10月2日発

農業事務所では、9月1日に落花生新品種「おおまさりネオ」の導入・普及を目的に、千葉地域管内の農業者及び関係機関を対象に現地検討会を開催したところ、44名の参加がありました。「おおまさりネオ」は、「おおまさり」に代わる品種として県が育成した極大粒の落花生で、令和3年から一般生産・販売が予定されています。草型は立性で、分枝が短くコンパクトとなっており、収穫の作業性が改善されています。

検討会では、「『おおまさりネオ』に触れる機会を！」をテーマに、品種特性や栽培方法、ゆで豆の調製方法、販売時の表示方法等の情報提供の他、現地ほ場で「おおまさり」と「おおまさりネオ」の掘り比べを行いました。参加者は、「新品種は枝をたぐり寄せる必要がなく、腰の負担が少ない。」と、作業性の良さを実感していました。

農業事務所では、新品種「おおまさりネオ」の導入・普及を今後も推進していきます。



品種特性及び栽培方法についての講義



掘り取った株を囲んで意見交換